



Title	米国管理下の南西諸島状況雑件 会談録（日・琉球首脳、政府高官）（39・7・27椎名外相・新里沖縄自民党幹事長 外務省外交史料館レファレンス番号：H221323）
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(3)No.1 公開日：平成22年12月22日 外務省外交史料館管理番号：A'3.0.0.7-1(5) CD・DVD番号：H22-009
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43191
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

39
7
27
椎名外相
新里冲繩自民党幹事長

竹内アメリカ局長 参

参事官 中

北米課長 上

椎名大臣と新里沖縄自民党幹事長との会談の件

(昭 37. 7. 28.)
米 参

27日沖縄自由民主党幹事長、新里清篤は、
外務大臣を来訪。4:30~5:00に亘り陳情した。
会談要旨は下記のとおり。(同会談同席、西堀
アメリカ局参事官、神谷琉球政府東京事務所渉外官)

記

新里：大臣の御就任に祝意を表します。
沖縄問題は日米間の大問題となっていますので
御就任早々、御多忙とは存じますが、
力をかけて頂きたいと思っております。ついでに、
最近の特に重要な問題について、
御説明申したいと思っております。
新しい参事官が上京した際には、
大臣も御会になると承知して頂きたいと思っております。

御会になった機会に充分、沖縄問題

について参事官に話しておいて頂きたい
と思っております。

沖縄政界では最近自治権の後退が
問題となり、それをきっかけとして大田主席が
辞表を提出する事態になりました。

これは池田総理が来てケネディと会われ
それに引続いてケネディ新政策が発表され
ました。われわれとしては、この新政策の成果は
ある程度収めておきたと思っています。

ところが過去2年間、自治権、沖縄
住民の自由というものについて殆んど
前進してないといわねばならぬ状況に
あります。その詳細については刷りものが
ありますから、これを御一読願って、

沖縄問題の重要性を御認識頂き、

この問題の解決に於て推進願いたいと思

います。

大臣：実は今も沖縄問題を勉強して居ます。

まだよくわからないが、これから十分勉強

したいと思っております。

新里：御承知のとおり、沖縄住民は戦争で

ひどい目に会い、今も軍占領の下に

あります。従って、この取扱いを万が一間違

えれば、共産主義者に対し跳梁

の機会を与えることにもなりかねない。

若し、アメリカの施政が今の儘であるならば

大変厄介なことになるのではないかと憂慮してい

ます。

特に安保条約改訂の時期には、

問題が大きくなるのではないかと

憂慮されます。

新高等弁務官のワトソレに於ては、

行政運営の面で、大いに改善の余地が

あることを強調お願いたし。というわけ

現弁務官の前の弁務官ブースの時は

非常によくおりました。勿論、キャラウェイは

非常に真面目な人で、恐らく弁務官として

こんな働いた人はないと言って間違いないで

した。そのやり方が今少し考えて頂けたらと

思うだけであります。

例へば、ある法案を成立させるにも、かつて

沖縄は中央政府ができるまでというところで、

事前調整及び事後調整という制度が

ありました。ところが、今日琉球政府が

できた後も、これが慣行として続いています。

この事前調整の如きは、最低60日かかる

状況で、しかもある法案が無修正で

可決されても、前に事前調整が行なわ

れたにも拘らず、再び事後調整を要請

される、といった状況であります。

而も、弁務官は絶対の権限をもっているので、

その書簡一本でひっくり返されてしまうといった

状態であります。勿論、文官の民政官も

あるにはあるが、弁務官がすべてのことに

権限をもって容喙するので、民政官は殆んど

その活躍の余地がない現状であります。

自分としては、この文官民政官の権限を

今少し確立するというのも重要な一つの

改善策と考えている次第です。

西塚：^{弁務官の}今の一本の書簡でひっくり返されるといわれた

が、沖縄人で、例へば、法案に反対の者が

弁務官の権力をかりて、その目的達成のため

に、このような書簡を発せしめるとゆうような

ことはないのでか。

新里：そのようなことは自分では考えません。

全く弁務官自身の考えで書簡が発せられて

いると思います。

とも角、弁務官が代る度に違った政策が

打出される状況にあることを、

ライツワーカー大使にも薦くとお話お願

いたし。軍事基地としての価値という点から

いつ^もも、*沖縄住民の納得のいく様な

施政が打出されることを希望しているわけでは